



Profile

東京都から清水区へ移住。
「今と違う土地で、新しい暮らしをしたいなあ」と思い移住を決意。
介護福祉士の資格を持ち、東京で約10年間介護職の経験を積み、清水へ移住後も介護の仕事をしている。日々の家族との暮らしやちょっとした楽しみを大切にしている。マグロが大好き。

《 Interview #02 》

つちや えいじ

海とマグロに感動 土屋 英司さん



移住先を清水に決めたきっかけ

子どもの頃からサッカーが大好きで、キャプテン翼の舞台にもなった静岡に憧れ、その地に少しでも近づけたらという思いがずっと心の中にありました。ちびまる子ちゃんの世界に入り込んだ気分になって暮らすことができるかもしれない、という期待もありました。

移住して感じた魅力

海の無い埼玉県出身なので、ドライブ中に綺麗な海が見えたことに感動しました。スーパーや魚屋さんで新鮮な魚を買えることも魅力ですね。マグロは鮮度抜群でとても美味しいです。清水が港町だからなのかもしれませんが、とにかく「雰囲気の良さ」を感じます。まち、人、時間の流れがのんびりしていて、どんなに小さな横断歩道でも車が止まってくれる人のやさしさ、思いやりには驚きました。

移住を考えている人へのアドバイス

移住後に「これがない!」とならないよう、自分の譲れないものをはっきりさせること、移住前に何度かその地に足を運ぶことが重要です。僕は、何でも揃いすぎているのはつまらない、移住自体を楽しみたいと思っていました。求めすぎず、イチからの生活を楽しみたいような人は、移住に向いているかもしれません。



Profile

長崎県から清水区蒲原(P15 MAP参照)へ移住。初めて蒲原を訪れた時のまちの雰囲気が良く「ここに住みたいなあ」と感じた。昔ながらのまち並みが魅力的で、人付き合いが深いまちだと感じている。Backpackers Hostel「燕之宿」を経営。妻の裕香さんが駄菓子「ツバメ」を営む。清水のご当地グルメ「もつカレー」がお気に入り。

《 Interview #03 》

おおさわ こうせい

蒲原に惚れこんで宿を開業 大澤 康正さん



蒲原に感じた魅力

蒲原のことはほとんど知りませんでした。たまたま休日に蒲原を訪れた時、建物や街道に趣があり、古くから受け継がれてきた東海道の歴史を感じる不思議な感覚を受けました。蒲原で暮らす中で、昔から培ってきたまちの生活感、暮らしてきた人の背景を垣間見ることができ、長崎には無い良さだと思いました。

移住する上で不安だったこと

地震・津波が心配でした。しかし、地域の皆さんは防災訓練に熱心ですし、蒲原は山も近く皆が避難先を知っておけば安心です。どこに住んでも災害に遭う可能性はあります。普段から住む場所の特徴や避難先を家族や地域の方々と共有しておくのがいいと思います。

仕事探しのアドバイス

都会と地方では、基本的な給与相場や職場環境など異なる点が多いことを理解しておくことが大事だと思います。都会には都会の、地方には地方のメリット・デメリットがあります。デメリットの部分がどれだけ自分に合うか、納得できるかが、地方で仕事を探して、そこに住むということのヒントになります。今は働く環境のオンライン化も進み、地方にいても首都圏や海外との仕事も可能になりました。自分自身や家族のこれからの人生を考えて、何に価値を見いだすかが大事だと思います。地方の生活は良いですよ。

